

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG2	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	2単位
科目コード		科目名	マーチャンダイジング戦略	授業期間	(通年)

担当教員(代表)： 山崎勇次	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

MDの成り立ちから事業としての理解度を高め実社会での活動に活かせる様にする。また、運営に必要な情報を収集出来るかも今後の社会では必要である為、ゲスト登壇やファッションメディアも教育課題にする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

各自が提案するプロジェクトを基に、コンセプトワーク・運営企画・社会貢献等まで、現代社会に適應できる考え方を学ぶ事により3年次への戦略及び卒業後の基本軸になり得るよう指導していきます。

- 1) 自己紹介・ブランドやレーベルの仕組み 5コマ
 - 2) ペルソナ制作・MD計画の実施から発表 7コマ
 - 3) ゲスト登壇によるPRとオウンドメディア 1コマ
 - 4) 前期の総論・後期の流れ 1コマ
 - 5) 後期の進行説明 1コマ
 - 6) 東京ファッションウィーク報告 1コマ
 - 7) 個人ブランドペルソナ設計 3コマ
 - 8) 個人ペルソナ説明およびMDMAP制作 3コマ
 - 9) 個人ペルソナ提出・発表 2コマ
 - 10) ゲスト登壇 世界のトレンドを学ぶ 1コマ
 - 11) 最終評価 2コマ
- 計27コマ

【評価方法】

出席5割・課題5割 個人事業態度態度：提出課題

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	パワーポイント PDF 課題提出

授業の特徴と担当教員紹介

(特徴) バイヤー・MDの経験を活かしてコンセプト・運営までを学ばせる。

(担当教員紹介) 1988年より株式会社ビームスにて店頭販売・バイイング・MD・ディレクター業務を主軸にセレクトショップの成り立ちやハウスブランドの立上げを運営していた経験から、企業コラボレーション・企業PRなど幅広い知識を活用し、2022年よりファッション業界・音楽業界・飲食業界で事業拡大に参画しておりコンサルティング・ディレクションを行っています。(主なクライアント) ユニバーサルミュージッククリエイティブ・英国ケンブリッジサッチェルなど。

記載者氏名 山崎勇次

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科 名 インダストリアルマーチャンドライジング科 2年	単 位	14 単位
科目コード 104～107	科目名 アパレル造形	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 花田 浩朝	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

商品としての服作りを意識し、シーズンごとのコンセプトやターゲットをもとに作品を制作する。人体の構造や運動機能を視野に入れ平面裁断、立体裁断のテクニックを習得し、デザイン発想力と表現力を養う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・アパレル造形 論 2単位

・アパレル造形演習 デザイン 4単位

・アパレル造形演習 実技 6単位

・アパレル造形演習 ドレーピング 2単位

1、シーズン表現Ⅰ [45コマ] 一重仕立てのアウターとボトムをコーディネートで制作

作図理論解説(3種)、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導
縫製指導、部分縫い指導(2種)、レポート作成

2、立体裁断Ⅰ [20コマ]

タイトスカート、セミフレアースカート。フレアースカート

ショルダーダーツ、ウエストダーツ、胸ぐせのバリエーション

3、シーズン表現Ⅱ [50コマ] ウールを使用したアウターとボトムをコーディネートで制作

作図理論解説(3種)、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導
縫製指導、部分縫い指導(2種)、レポート作成

4、立体裁断Ⅱ [17コマ]

シャツカラーのブラウス、スタンドカラー、フラットカラー

5、シーズン表現Ⅲ (修了制作) [73コマ]

作図理論解説(2種)、作品テーマの設定、コンセプトマップ作製、デザイン発想指導、パターン作製指導
縫製指導、部分縫い指導(2種)、レポート作成

【評価方法】

・アパレル造形論・・・筆記試験100% ・ドレーピング・・・製作物50%、実技試験30%、授業姿勢20%

・デザイン・実技・・・製作物70%、レポート10%、授業姿勢20%

主要教材図書	服飾造形講座 スカート・パンツ、ブラウス・ワンピース、ジャケット・ベスト、コート・ケープ 高級素材、特殊素材、立体裁断基礎編
--------	---

参考図書	情報誌
------	-----

その他資料	参考標本、プリント
-------	-----------

授業の特徴と担当教員紹介

作品はコンセプトやイメージモデルを設定し、テーマに沿って制作をする。

立体裁断は基本に時間をかけ、布目の流れやパターンの基本構造を理解させる

担当教員紹介・・・アパレル造形を主に指導。約15年マーチャンドライジング科を担当。

記載者氏名	花田 浩朝
-------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG2	科 名	インダストリアル MD 科 2 年	単 位	1
科目コード	400900	科目名	生産管理概論	授業期間	前期

担当教員(代表)：加藤紀人	共同担当者：
---------------	--------

科目概要

アパレル産業の生産プロセスを、縫製工場とアパレルメーカーの双方から捉え、工業生産についての理解を深めることを目標とする。また、縫製仕様書や加工・裁断・芯貼り指図書や工程分析表などの作成を通して、生産情報の伝達・管理手法や量産的な考え方を学習し、基礎レベルの習得を目指す。

授業概要

I. ガイダンス (1コマ)

- ① 授業概要(提出物・試験・評価方法 等)
- ② 生産管理とは
- ③ アパレル産業の現状

II. 工業生産と生産プロセスの概要 (1コマ)

- ① 工業生産とは
- ② アパレル生産の概要とフロー

III. 生産指示書概要 (4コマ)

- ① 加工・裁断・芯貼り指図書
- ② 縫製仕様書

IV. 工程分析 (3コマ)

- ① 工程分析表
- ② 各自の工程分析表の作成演習

V. 製造品質 (3コマ)

- ① 品質とは
- ② 縫製不良
- ③ 標準化への各種取り組み

VI. 製造原価 (2コマ)

- ① 原価とは
- ② 製造原価計算

評価方法・対象・比重

出席率(30%) + 提出物(30%) + 筆記試験(40%)

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル産業の生産プロセスと工業生産を理解することができる。担当教員は文化服装学院専任講師。

記載者書名欄 加藤紀人

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単 位	2 単位
科目コード 122～123	科目名 自由研究Ⅱa/Ⅱb	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：花田 浩朝	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル造形のカリキュラムを応用発展させ、カリキュラムの特色を生かしたコンセプトの設定や発表のを行う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

自由研究Ⅱa

1、各課題にコンセプト設定をし、マップ作成をおこなう。

制作後プレゼンテーション形式で発表できるようにまとめる。

2、アパレル造形の作品発表に効果的なコーディネートに必要なものを制作する。

自由研究Ⅱb

修了制作ショーにおいて各パートの活動運営に参加する

【評価方法】

評価認定(P)

学業姿勢、出席状況により

主要教材図書	なし
--------	----

参考図書	なし
------	----

その他資料	なし
-------	----

授業の特徴と担当教員紹介

作品制作の段階で重要となるコンセプト設定や、完成後の発表法(プレゼンテーション、ショー)にあわせて準備運営を行う

担当教員紹介・・・アパレル造形を主に指導。約15年マーチャンダイジング科を担当。

記載者氏名	花田 浩朝
-------	-------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG2	科 名	ファッションマーケティング	単 位	2 単位
科目コード		科目名	インダストリアルマーチャンダイジング科	授業期間	(2023/4/11~2024/1/30)

担当教員(代表)：佐藤亜都	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

社会においてファッションがどのような位置付けにあり、それぞれがどのように作用し合っているかを、時事ネタなどを引用して解説。ファッション業界で働く上で必要な「俯瞰して物事を捉える視点」を養っていく。

【授業計画】

テーマ：“社会に生きる”ファッションブランド・アパレル企業を目指す
 ゴール：常に社会へ触れ続ける「過去、未来、現在を見つめるブランド」を一気通貫で設計する

コマ数：前期（14 回）後期（14 回）

方法：講義や生徒による発表を混ぜながら、生徒が積極的に参加できるインタラクティブな授業を行う。
 前期では基本的に講義と生徒個人による発表、後期ではグループでの発表とディスカッションを行いながら、生徒自身で考え、それをまとめて伝えるということまで行う。

前期は主に「発信するとはどういうことか」について考えていく。SNS やウェブでのデジタルコミュニケーション、炎上やバズについて考察。時事ネタを交えながら、生徒自身の考えを発表してもらう機会を、ほぼ毎週課題として儲ける。

後期はグループに分かれて架空のファッションブランドを作ってもらい、それぞれのペルソナや販売方法、伝達方法などを講義を交えながら考え、発表していく。それらの課題を通して、ファッションブランドの運営を多角的に捉える視点を養っていく。

宿題：
 毎回2名に「最近読んだファッションニュースのまとめと、それに対する意見」を述べてもらうプチ発表を予定。

【評価方法】

①S・C・F 評価〇〇%、授業姿勢〇〇% を記載
 ※学業評価=各期末試験の得点、平常成績(授業内での応答、課題作 品・実技の評価など
 授業姿勢=出欠状況、授業課題提出状況など

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	WWD JAPAN, 繊研新聞, fashionsnap. com などで掲載されている時事ネタを扱う

授業の特徴と担当教員紹介

本授業では、ファッション業界で働く上で意識してほしい「物事の俯瞰した捉え方」を、生徒にも馴染みのある時事ネタを引用し身につける訓練をする。担当教員はファッション IT 企業でデジタルマーケティングやオウンドメディアの運営を経験後、フリーランスとしてモード誌ウェブメディアの SNS エディター/ライター、D2C ブランドの SNS やポップアップストアの運営を担当している。

記載者氏名 佐藤亜都

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG2	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科	単 位	1 単位
科目コード	科目名 ヴィジュアルマーチャンダイジング	授業期間	2024. 4. 9～2025. 1. 28

担当教員(代表) : 田中はるみ	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
VMD全般（概略、基礎的な技術など）通年を通して講義・演習を交えながら行う。 VMDの役割を知ること、関係性のある様々な人たちからの情報と共に、より良い売り方政策に繋がること、またこれまでのVMDから近年変化のある売場づくりの重要性も知ってもらうことを目的とする。VMDは繋ぐ役目があるため、コミュニケーション力の向上も合わせて伝えていくプランにしています。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ（前期）	方法	コマ数	テーマ（後期）	方法	コマ数
VMD とは	講義演習	1	前期の復習 夏休み中の課題確認	シェア	1
VMD 概論/VMD の役割	講義演習	1	VMD 売場創り VMDPLAN・年間スケジュール	講義	1
VMD の知識と展開の基本 VP とマネキン	講義演習	1	VMD 売場創り MKT 視点（購買分析、心理）	講義演習	1
VMD の知識と展開の基本 VP、PP とトルソー	講義演習	1	VMD 売場創り 平面図等の見方	講義演習	1
VMD の知識と展開の基本 什器・プロップスの説明扱い方	講義演習	1	VMD 売場創り ゾーニング	講義演習	1
VMD の知識と展開の基本 VP 政策コーディネート	演習	1	VMD 売場創り ライティングの効果	講義	1
VMD の知識と展開の基本 商品の畳方見せ方	講義演習	1	VMD 売場創り POP	講義演習	1
VMD の知識と展開の基本 ラック掛けかた	講義演習	1	VMD 売場創り ハンガーを使用したセッ トアップの見せ方	講義演習	1
VMD の知識と展開の基本 基本の構成①	講義演習	1	VMD 売場創り VMD 指示書・E コマース 用撮影手法	講義演習	1
VMD の知識と展開の基本 基本の構成②	講義演習	1	VMD 売場創りシルクピン(PL 法)の扱い	講義演習	1
VMD の知識と展開の基本 ラッピングとり ボンの結び方	講義演習	1	VMD 売場創り WD・店内レイアウトプ ラン準備	講義 MTG	1
VMD/POPUP 定義と準備	講義	1	ブース作り/店舗店内作り準備	演習	1
VMD/POPUP 制作準備	演習	1	ブース作り/店舗店内作り展示	演習	1
VMD/POPUP プレゼンテーション	演習	1	SALE とプロパーの VMD の違い	講義演習	1
			VMD 総集	講義	1

【評価方法】

主要教材図書：オリジナル資料
参考図書：商品装飾展示技能検定ガイドブック、文化ファッション大系ファッション流通講座ディスプレイ・VP・VMD
その他資料：店舗街頭写真、個人のVMD写真

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 田中はるみ

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG3	科 名	インダストリアルマーチャダイジング科 2 年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	セールスワーク	授業期間	前期

担当教員(代表)：	小林章子	共同担当者：	
-----------	------	--------	--

【授業概要、到達目標・レベル設定】 ・販売員としての基本マナーや立ち居振る舞いを身に付ける ・接客販売の基本の流れを理解し、接客の楽しさ、難しさをロールプレイングを通して学ぶ ・販売員の重要性、必要性を理解する

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先		
テーマ	方法	コマ数
・第一印象の重要性	講義・ディスカッション	1
・販売員の基本マナー	講義・ロールプレイング	1
・お客さまの購買心理と FA の対応	講義・ロールプレイング	1
・出会いを増やす待機姿勢～迎え入れ	講義・ロールプレイング	1
・会話に繋がるファーストアプローチ	講義・ロールプレイング	1
・会話を弾ませながら情報収集	講義・ロールプレイング	1
・ニーズを引き出す会話	講義・ロールプレイング	1
・価値が伝わる商品説明	講義・ロールプレイング	1
・根拠ある商品提案	講義・ロールプレイング	1
・コーディネート提案	講義・ロールプレイング	1
・レジ対応～お見送り	講義・ロールプレイング	1
・ロールプレイングテスト	ロールプレイング	2
・販売員の役割とは	講義・ディスカッション	1

【評価方法】 S～C・F 評価 評価基準 学業評価50%：ロールプレイングテスト、レポート、ファイル管理 授業姿勢50%：出席状況、授業に対する参加度による総合評価

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	なし

授業の特徴と担当教員紹介 アパレル企業での接客販売、マネジメント、店舗運営、VMD、スタッフ研修等の業務経験をもとに、接客販売の重要性やファッション業界で必要とされるコミュニケーションスキル・マナー・テクニックをロールプレイング形式で実践的に指導。課題点を捉え、改善につなげるプロセスも身に付ける。
--

記載者氏名

科コード K62	科名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単位	2
科目コード 501610	科目名 色彩計画Ⅰ	授業期間	通年

担当教員(代表)：岡山文香	共同担当者：
---------------	--------

教育目標・レベル設定など

1年次『服飾デザイン論』で習得した色彩の基礎を発展的に学習する。

配色やイメージ表現などの基本的な色彩スキルをトレーニングしたのち、コンセプト策定からプレゼンテーションまでの色彩計画の考え方を演習を通して学習する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | |
|-----------------|--|---------------------------------|
| 1. 概論 | 産業における色彩の役割
流行色の仕組み | 〈講義 2コマ〉 |
| 2. カラーコーディネート | 色相・トーンによる配色
ファッションカラーコーディネート
フォ・カマイユ／トーン・オン・トーン／トーン・イントーン／トータル
ナチュラル・ハーモニー／コンプレックス・ハーモニー
色彩調和論 配色ファイルの作成 | 〈講義および演習 8コマ〉 |
| 3. イメージと色彩 | 色彩の心理的効果／色の連想・象徴
イメージと配色／色彩によるイメージ表現 | 〈講義および演習 3コマ〉 |
| 4. 色彩とコミュニケーション | 慣用色名と系統色名／カラーシステムとカラーコード
色名ファイルの作成 | 〈講義および演習 4コマ〉 |
| 5. パーソナルカラー | | 〈講義および実習 4コマ〉 |
| 6. トレンドカラーの分析 | 情報収集と整理・分析／製品色の提案 | 〈講義および演習 3コマ〉 |
| 7. トレンドカラーの提案 | 社会、ファッション環境の現状調査
コンセプトの策定／次シーズンへの提案 | 〈講義および演習 4コマ〉
プレゼンテーション資料の作成 |

評価方法・対象・比重

S・A～C・F評価 評価基準：学業評価70% 授業姿勢30%

主要教材図書

文化ファッション体系服飾関連専門講座9『服飾デザイン』(文化服装学院編／文化出版局)

参考図書 ファッション色彩Ⅱ

その他資料 Color Chart、ベーシックカラー140

授業の特徴と担当教員紹介

アパレルでの商品企画をする上で色彩の知識を演習を行いながらより実践的に習得していく。

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` KG2	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	1単位
科目コード` 500820	科目名 ファッションデザイン画Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表)：北山 千春	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ブランド構成に必要な着装表現と製品図を相手に伝えるように描く技術を養う。
個々のレベルに合わせた指導を行い、個性を伸ばしつつ、目的に合ったファッションデザイン画の指導を行う。

【授業計画】（全15コマ）

1. オリエンテーション（1コマ）

- (1) 1年間の授業の流れを把握
- (2) 描くスキルの確認

2. 基本のボディを描く（2コマ）

各自のデザインに合ったボディ製作（アウトライン仕上げ）

3. 着装表現（3コマ）

- (1) 服造で製作中の作品を正確に描く
- (2) バリエーション展開を行う

4. 製品図（3コマ）

- (1) 描いたことのないアイテムにチャレンジ
- (2) 服造で製作中の作品を正確に描く

5. ブランド構成（ポートフォリオ）（5コマ）

- (1) ベーシックアイテムの研究を行う
- (2) ベーシックアイテムの着装画を描く（製品図含む）
- (3) デザイン展開した着装画（製品図含む）

6. 講評会（1コマ）

作品を見合い、今後の制作に活かす

【評価方法】

S～C・F評価／評価基準：出席25% 課題75%

主要教材図書 文化ファッション大系服飾関連専門講座④ ファッションデザイン画

参考図書 なし

その他資料 教員作成の資料

授業の特徴と担当教員紹介

個々の目的に合ったファッションデザイン画の個別指導を中心とした授業体制。文化服装学院専任講師が担当。

記載者氏名 北山 千春

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG2	科 名 インダストリアルマーチャндаイジグ 2 年	単 位	1 単位
科目コード	科目名 アパレル素材論Ⅱ	授業期間	前期

担当教員(代表)：菅野めぐみ	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル素材論Ⅰで学んだ基礎知識をもとに講義・演習を通し、素材特性を最大限に引き出したより完成度の高いアパレル制作が出来る力や、取扱いを含めた素材を見る目・知識を身につける事を目標とする。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. 布地の構成(講義、演習)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5 コマ

1 年次で学んだ基礎知識の復習(各繊維性能、糸、組織等について)

織編組織について、布地の構成や特徴、布地の規格、染色整理仕上げについて

織物模型制作、その他織組織スワッチ分類、布地調べ

2. 風合い(講義、演習)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 コマ

各種風合い表現、風合いをつくるためのテクニック(繊維、糸、布地、仕上げ加工の観点から探る)

風合い別分類マップ制作

3. 布地の物性実験(講義、実験)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 コマ

サンプリング、各機器を使用した物性実験、考察

4. プリーツ(熱セット)実験(講義、実験)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 コマ

熱可塑性を活かしたプリーツ作り・保持性の実験含

5. テキスタイル産地(講義、演習)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 コマ

日本のテキスタイル産地(織物・ニット産地)各産地の特色とマップ制作

6. 総論(講義)・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 コマ

アパレル素材論Ⅱ総論

【評価方法】

S～C・F評価(学業評価80% 授業姿勢20%)

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局／「ワークブッカーアパレル素材論」文化服装学院教科書出版部／「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

講義、実験実習を行いながら素材知識を深める授業です。 文化服装学院専任講師/菅野めぐみ

記載者氏名 菅野めぐみ

科コード	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科	単 位	1 単位
科目コード	科目名	アパレル品質論	授業期間	後期

担当教員(代表)：田村亜由美	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

テキスタイルやアパレルの品質評価試験、品質基準、洗濯などの取り扱い方法や製品の品質表示、関連する法規制や規格等について講義、演習、実習を通して学び、法律や規格を遵守した上で、実用性能、要求品質を満たしたアパレルの企画、製造、販売ができることを目的とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
1. 関連する表示の法律 ・ アパレルの品質管理について	講義	3 コマ
・ 品質表示について		
2. アパレルの取り扱い・洗濯 ・ 洗濯方法の種類と特徴	講義 演習 5 コマ	
・ 特殊クリーニングについて		
・ 耐薬品性・しみ抜き方法の理解		
・ しみ抜き実習		
・ 保管について、子供服の安全規格について		
3. 関連する法律や規制について ・ 安全性に関連する法律規制	講義	1 コマ
4. 品質評価試験 ・ 品質評価試験について	講義 実習	4 コマ
・ 染色堅ろう性について（染色堅ろう度試験）		
・ 形態安定性、寸法変化率について		
5. アパレルに関連する表示の法律 ・ 表示法とポリウレタンの素材特性	講義	1 コマ
6. アパレルの保証とクレーム ・ アパレルの保証とクレーム事例	講義	1 コマ
	計	15 コマ

【評価方法】 学業評価:80% 授業姿勢20%

主要教材図書 主要教材図書 ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座①「アパレル品質論」文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

授業の特徴：講義とともに実習やデモンストレーションを取り入れ、品質管理を学習する。

担当教員紹介：文化女子大学（現文化学園大学）卒業、職歴 都内百貨店の品質管理、公的検査機関

記載者氏名 田村亜由美

文化服装学院教務部

科コード	科 名	インダストリアルマーチャダイジング科2年	単 位	2単位
科目コード	科目名	コーディネート論	授業期間	(通 年)

担当教員(代表)： 夏目 幸恵	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づき HP 上で公開します）

ファッションコーディネートに必要な基本知識と技術を習得することを目的とする。

コーディネートを理論的に捉えることで感性の理論化を目指す。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- | | | |
|------------------------|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1、コーディネート基礎 | ファッションコーディネートとは
基本的な考え方と種類について | 1コマ（講義：1コマ） |
| 2、アクセサリーに視点を置いたコーディネート | アイウエア、帽子の種類と名称 | 3コマ
（講義：1コマ/実習：1コマ/プレゼン：1コマ） |
| 3、素材・柄に視点を置いたコーディネート | 同素材・異素材、柄の種類とテクニック | 3コマ
（講義：1コマ/実習：1コマ/プレゼン：1コマ） |
| 4、体系カバーに視点を置いたコーディネート | 体型観察、総合的に見るテクニック①、②、部分的に見るテクニック③ | 7コマ
（講義：3コマ/実習：3コマ/プレゼン：1コマ） |
| | | 計 14コマ |

S ~ C · F 評価

評価基準：学業評価 80% 授業態度20%

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション流通講座 コーディネートテクニック 演出編
参考図書 なし
その他資料 なし

記載者氏名 夏目 幸恵

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科2年	単 位	
科目コード		科目	インターネットビジネスⅠ	授業期間	後期

担当教員(代表)：黒川智生	共同担当者：
---------------	--------

<p>教育目標・</p> <p>EC サイト運用の基礎を学習する</p>

<p>【授業計画】</p> <p>テーマ</p> <p>BASE を活用して、EC サイトの簡易的な構築から運用までを実践。</p> <p>所要コマ数 コマ</p> <p>(講義 30%、グループワーク 50%、発表 20%)</p> <p>使用機材：PC</p> <p>【講義内容】</p> <p>アパレル EC の現在の環境について</p> <p>アクセス解析の基礎</p> <p>要件定義について</p> <p>グループ単位で EC サイト構築を実践。</p> <p>結果をプレゼンテーションし、フィードバックを行う。</p> <p>【ポイント】</p> <p>・グループごとに EC サイトの方向性を決めるに当たり、10 サイト程度リサーチ。</p> <p>→なぜ、今このブランドの調査を行うのか。</p> <p>・EC サイトのどこに焦点をあてるか</p> <p>→総合的に捉えることが必要</p> <p>商品画像、購買層、価格帯、決済処理などを深掘りしていく。</p>
--

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>出席 70% 授業内課題 30%</p>

<p>主要教材図書</p>
<p>その他資料</p>

--

記載者書名欄 黒川智生

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG2	科 名	IMD 科2年	単 位	2単位
科目コード		科目名	デザイン文化	授業期間	通期

担当教員(代表)：布施伊織	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

複雑な成立過程を孕むようになった近代の西洋美術作品から、デザイン、現代アートについて解説。単純に作品を紹介するのではなく、なぜそれらの傑作が生まれたのか、芸術家がどういう意図で作品制作を行ったのかを考察することでクリエイションの方法論を探り、発想の引き出しを増やすことにつなげる。また、それらの知識に基づいた実践演習も織り交ぜる。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
デザインとは(オリエンテーション)	座学	1	芸術の純粋性とは。印象派、ポスト印象派を通じて	座学	1
エディトリアルデザイン解説・演習	座学 実習	2	変容した絵画概念。セザンヌ、ゲシュタルト心理学など	実習	1
色彩の感情効果	座学	1	装飾の概念、キュビズムとフォービズム。	座学	1
造形論、形の展開、コンポジション	座学 実習	2	表現主義	座学	1
歴代ディオールデザイナーの PLANNING 分析	座学 実習	2	素材、表現スタイルなど芸術の多様化。デュシャンなど	座学	1
デザイン論的観点による素材	座学	1	バウハウス概説	座学	1
ファッションイメージの分析・構築	座学 実習	2	ポスト芸術。ポロックやウォーホルなど。	座学	1
プロダクトデザイン史	座学	1	現代アート概説	座学	2
美術史的アプローチ方法の解説	座学	1	カルチャー史解説	座学	2
新古典主義、風景画、ロマン主義の哲学	座学	1	課題説明	座学 実習	1
芸術のメッセージ性	座学	1	実習・提出	座学 実習	1

【評価方法】

出席率、授業内レポート、最終回の企画発想実習

授業の特徴と担当教員紹介

四大卒後、文化服装学院アパレルデザイン科卒。アパレル企業勤務を経て、アスリートマネジメントを行う会社に8年間勤務。日本美術・西洋美術の知見を用いて美術・デザインを分析的に見る視点をもとに、デザインの方法論を考察・一般化して学生に届ける。

主要教材図書 文化ファッション体系 改訂版・服飾関連専門講座『服飾デザイン論』文化服装学院編

参考図書

その他資料

記載者氏名 布施伊織

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG2	科 名	インダストリアルマーチャндаイジグ科2年	単 位	1 単位
科目コード		科目名	英会話 I	授業期間	前期

担当教員(代表)：三村 典召	共同担当者：増田 和香子
----------------	--------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】英語の基礎文法の復習に加え、グループ、ペア・ワークを通し英語運用能力を高める。自分の考えをシンプルに伝えることができるようになることを目標に据える。加えて適宜ファッション関連のトピックなども導入する。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
Course description/Self-introduction	演習	1
Activity with Alphabet Cards	演習	1
Countries and Fashion Brands	演習	1
Dates and Months	演習	1
Time and Frequency	演習	1
Interrogatives and Questions	演習	1
Giving Directions	演習	1
Adjectives	演習	1
Adjectives(2)	演習	1
Sewing Tools and Clothes-Making Process (1)	演習	1
Sewing Tools and Clothes-Making Process (2)	演習	1
Number	演習	1
Fashion show	演習	1
Oral Presentation	演習	1

【評価方法】
学業評価(50%)、 授業姿勢(50%)

主要教材図書	Essential English for Fashion Students
参考図書	
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介 コミュニケーション力を養うため可能な限りペアワーク・グループワークの機会を設ける。

記載者氏名 三村 典召

科コード	科 名	インダストリアルマーチャндаイジング科 2 年	単 位	2 単位
科目コード	科目名	グラフィックワーク 1	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：加藤 正人	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自の企画デザイン能力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。衣服製品図、テキスタイル図案、印刷物等の製作を通してグラフィックソフトの基礎技法習得を目指す。

【授業計画】

- (1) パーソナルコンピュータの基本操作(0.5 コマ)
 - ・ハードウェアの操作/コンピュータ本体、マウス、キーボード、モニター等
 - ・OS の操作、ファイルの管理、文字入力
- (2) Adobe Photoshop の基本操作(1.5 コマ)
 - ・Photoshop、ペイントソフトの基礎知識
 - ・各種ツール、パネル、メニューの操作
 - ・描画、加工、編集の基礎技法
- (3) Adobe Illustrator の基本操作(5 コマ)
 - ・Illustrator、ドローソフトの基礎知識
 - ・各種ツール、パネル、メニューの操作
 - ・描画、加工、編集の基礎技法
- (4) 印刷物の製作 名刺/ポスター/ポップパネル(8 コマ)
 - ・紙印刷物の入稿データの製作方法
 - ・Illustrator と Photoshop の連携
 - ・レイアウトデザイン、トーン&マナー
- (5) 衣服製品図の制作(9 コマ)
 - ・衣服製品図の役割
 - ・衣服製品図の描き方
 - ・各アイテムごとの製品図の製作
T シャツ、ブルゾン、自由デザイン、他
 - ・ディティール表現
 - ・カラーバリエーション
 - ・デザインバリエーション
- (6) テキスタイルグラフィックの製作(6 コマ)
 - ・Illustrator によるテキスタイル柄、パターンの製作(基礎)
 - ・Photoshop によるテキスタイル柄、パターンの製作(基礎)

使用ソフト

- ・Adobe Photoshop
- ・Adobe Illustrator

【評価方法】

- ・提出課題
- ・出席率

主要教材図書・なし

参考図書・なし

その他資料・課題別各種プリント、作例

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル会社にてグラフィックデザイナーとして勤務後、フリーランスとして活動。
ファッションブランド、ショップ等のグラフィック、イラスト製作を手がける。
デジタルデバイス、グラフィックソフトによるファッショングラフィックの実践授業を実施。

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG2	科 名 インダストリアルマーチャング・デザイン科 2 年	単 位	1 単位
科目コード 904520	科目名 キャリア開発Ⅱ	授業期間	後期 ()

担当教員(代表) : 森 薫子	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など 200 字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)

- 志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う
 - ・企業職種研究を通して、仕事の面白さを考え、希望する企業や職種がイメージできるようになる
 - ・面接練習などを通してプレゼンテーション能力が高まる
 - ・筆記試験
- 育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1 年後期、2 年前期に学んだキャリア開発の総仕上げとして、就職活動に必要な力と能力「総合的就職力」を育成。

具体的には、①基本マナーと好感を与えるコミュニケーションスキル、②PDCA サイクル、③企業・職種研究などの2 年前期に学んだ就職活動の基本を踏まえつつブラッシュアップさせ、更に以下2 点を強化。

② プレゼンテーション能力

②筆記試験対策

あわせて、企業研究・職種研究を通して「仕事の面白さ」を発見し、志望する就職先や職種を見つけ、内定するために必要な力は何かを考え学び実践。

これらの「総合的就職力」を、講義+ワーク+実習+SPI 対策を通して身につけさせる。

全 13 回、すべての回を通して SPI 対策を実施し、後半では、履歴書やエントリーシートを書き、模擬面接(集団・個人・グループディスカッション)も行う。

評価方法・対象・比重

受講態度(個人ワーク及びグループワーク・プレゼンテーション実習) 70%+レポート20%+課題10%

主要教材図書

- ・BUNKA FASHION COLLEGE PLACEMENT GUIDE 2023
- ・レジュメ

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

志望する就職先に内定するために必要な「総合的就職力」を養う。
育成プロセスとして、単なるやり方を伝えるだけでなく、意識させ、繰り返してできるようになるまで行う。

記載者氏名 森 薫子

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単 位	2 単位
科目コード 805	科目名 特別講義Ⅱa/Ⅱb	授業期間	(通年)

担当教員(代表) 花田 浩朝	共同担当者 :
----------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル産業の現状を主に卒業生から企業目線や実体験のアドバイス、さらに科の特色に沿った知識として講義、実習をうける

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

トレンドの変遷	2コマ	澤住 倫子先生
トレンド解説	2コマ	WWDに依頼
ブランド運営	1コマ	森 崇氏
カットソーの知識と縫製	3コマ	西川 真令先生
ファッション情報とテキスタイル	1コマ	金子 博也氏
キャリア開発	7コマ	森 薫子先生
販売促進について	1コマ	酒井 英典氏
リサーチと新企画提案	2コマ	三浦 健氏
染色について	2コマ	伊藤 望先生
アパレルの企画から生産	1コマ	深澤 良宏氏
ポップアップショップ企画	1コマ	鈴木 絢也氏
アパレル企業の仕事体験	2コマ	(株)エフリード
バイヤーの業務	1コマ	未定

【評価方法】

履修認定 (P)
学業姿勢、出席状況により

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	講師準備プリントなど

授業の特徴と担当教員紹介

科の特色にあわせ講師を依頼し、日々の授業では得られない知識を習得する

記載者氏名 花田 浩朝

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単 位	2 単位
科目コード 807	科目名 校外研修Ⅱ	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 花田 浩朝	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

日本の伝統文化に触れる機会を持ち、感性を高める。

また、アパレル企業や工場を見学し、新しい技術や長年培われた地場産業の技術を学ぶ

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

○デニム工場見学・・・縫製・加工・デニム

○ONOMICHIの複合施設を利用したファッションショーの実施企画と展示

【評価方法】

履修認定 (P)

出席状況により

主要教材図書

参考図書

その他資料 現地ガイドによる解説

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 花田 浩朝

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単 位	1～2 単位
科目コード 808～809	科目名 企業・学内研修 a/b	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：花田 浩朝	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

アパレル業界の現場・現状を把握させるためにアパレル企業で実際に研修を受けることで学校教育では体験出来ない実学を学ぶ。

また、企業研修に参加しない学生は学内研修を受講し、日常で学べない知識を得る。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

企業研修

企業の業務概要と研修部門での業務について指導を受け、補助的な業務に従事する。

終了後、研修報告会をプレゼンテーションにて発表する

学内研修

オリジナルブランドにおけるシーズン企画立案 20コマ

グラフィックワーク 4コマ

ポートフォリオ作成 2コマ

OEM業界について 2コマ

リクルートカラー 2コマ

コミュニケーションと文化 2コマ

ピンワーク実習 2コマ

新ブランドの立ち上げ 2コマ

合計 36コマ

※企業研修・学内研修のどちらかを選択する

【評価方法】

履修認定 (P)

学業姿勢、出席状況により

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	講師作成資料

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 花田 浩朝

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 1242	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科 2年	単 位	1 単位
科目コード 810	科目名 コラボレーション a/b	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : 花田 浩朝	共同担当者 :
------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

科の特色の科目や特別講義で習得した知識を活用し、外部講師、企業とのコラボレーション活動をグループで参加する

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

外部講師・企業とのコラボレーションが実現した年度のみ行う

【評価方法】

履修認定 (P)
学業姿勢、出席状況により

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	

授業の特徴と担当教員紹介

記載者氏名 花田 浩朝

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG3	科 名	IMD 科 3 年	単 位	2 単位
科目コード		科目名	MD 論 II	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：黒川智生

共同担当者： なし

【授業概要、到達目標・レベル設定】

前年の「MD 論 I」内容を踏まえて、各種の MD 類型に合わせて商品構成を組み、PDCA サイクルを回しながらチーム成果に貢献できる MD の育成を目指す。また、MD 以外の職種に就く学生にも、ブランド運営における MD の役割を理解し、各々が役割を果たすことで顧客支持が得られることを理解できるようにする。

【授業計画】

●前期(15回)

- ・科目ガイダンス ・MD に関する 3 つの類型
- ・卸型 MD ・SPA 型 MD ・小売型 MD
- ・MD 計数 I (販売計画、価格設定、原価構造 & 設定、型数 & SKU 設計、各種経費など)
- ・前期取り組み企画 (Kajif) プレゼンに向けた、MD 項目の整理
- ・各班別活動へのアドバイス
- ・プレゼン実施 2 回
- ・前期試験

●後期(15回)

- ・卒業制作テーマ設定 & 企画制作骨子づくり (他科目と連動)
- ・卸型、SPA 型、小売型 MD 追加解説 (卒業制作に合わせて)
- ・MD 計数 II (事業計画、各種投資、各種経費、資金計画など)
- ・各班別活動へのアドバイス
- ・卒業制作発表
- ・後期試験

【評価方法】

- ・出席 20 点 = 20 点 × 出席率 (X/)
- ・授業内課題 (小テスト、コメントなど) 20 点
- ・前期試験 = 20 点
- ・後期試験 = 20 点
- ・特別加点 10 点 = 各自の取り組みに対し、加点します。

主要教材図書 特になし

参考図書 随時紹介します。

その他資料 随時紹介します。

授業の特徴と担当教員紹介

- ・理論解説とともに、チーム別の個別課題へのアドバイスを通じて、実際のビジネス視点を養ってゆきます。
- ・授業の各種連絡、課題提出などは、指定の Google Classroom を活用します。各個人の学びが多くなるようにしましょう。
- ・株式会社ワールドにてブランド運営業務 (18 年)、2006 年独立。日本 + 東アジア圏のファッションブランドを支援中。

記載者氏名 黒川智生

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	KG3	科 名	IMD 科3年	単 位	3単位（前期1/後期2）
科目コード	100120	科目名	マーチャンダイジング演習・企画 （前期講義担当。後期は別紙で提出）	授業期間	（通年）

担当教員（代表）：黒川智生（前期講義担当）	共同担当者：なし
-----------------------	----------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

前期の企業との取り組み企画、後期の卒業制作に合わせて、それぞれをマーチャンダイジングの側面から支えるべく、「知識の整理⇒各項目仮説設定⇒点検⇒アウトプット⇒点検⇒修正⇒プレゼン」という企画フロー繰り返す。これはMDのPDCAサイクルと同様であり、卒業後の各種業務にも活用できるレベルを目指す。

【授業計画】

- 前期（14回）
 - ・前期取り組み企画（Kajif）概要設定シート完成
 - ・アパレル 卸型MDの業務フロー解説
 - ・SPA型MDのリサーチ&報告
 - ・前期取り組み企画（Kajif）推進 プレゼン準備
 - ・ECページ作成

【評価方法（前期講義分）】

- ・出席20点＝20点×出席率（X/14）
- ・授業内課題（レポート提出など）＝10点
- ・前期課題評価＝15点（S、A、B、C）
- ・特別加点5点＝各自の取り組みに対し、加点します。

主要教材図書	特になし
参考図書	随時紹介します。
その他資料	随時紹介します。

授業の特徴と担当教員紹介

- ・理論解説とともに、チーム別の個別課題へのアドバイスを通じて、実際のビジネス視点を養ってゆきます。
- ・授業の各種連絡、課題提出などは、指定のGoogle Classroomを活用します。各個人の学びが多くなるようにしましょう。
- ・株式会社ワールドにてブランド運営業務（18年）、2006年独立。日本＋東アジア圏のファッションブランドを支援中。

記載者氏名	黒川智生
-------	------

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG	科 名 インダストリアルマーチャングデザイン科3年	単 位	12 単位
科目コード 001020	科目名 アパレル造形論Ⅱ	授業期間	前期・後期

担当教員(代表)：神藤 綾	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
各自コンセプトに基づいたクリエイション性の高いデザインの表現力と企画力を向上させる。

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

アパレル造形論	前期 1 単位	後期 1 単位
アパレル造形演習 デザイン	前期 2 単位	後期 2 単位
アパレル造形演習 製作	前期 3 単位	後期 3 単位

1、プライベートブランドⅠ

（春夏アイテム 一重ジャケットとボトムまたはワンピース）90コマ 前期

カジレーネ株式会社とのコラボレーション

デザイン・パターン・実物1st サンプル製作・プレゼンテーション

2、プライベートブランドⅡ（秋冬アイテム）90コマ 後期

デザイン・パターン・実物製作・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

制作物・コミュニケーション能力・出席状況

主要教材図書

ファッション大系・・・スーツ・ベスト コート・ケープ 服飾造形応用編（特殊素材 高級素材）
立体裁断（基礎編 応用編）

参考図書 各種コレクション情報

その他資料 実物参考標本 プリント

記載者氏名 神藤 綾

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科 名 インダストリアル MD 科 3 年	単 位	1
科目コード	科目名 生産企画	授業期間	前期

担当教員(代表)：井戸川 倫也	共同担当者：
-----------------	--------

科目概要

アパレル管理業務をシミュレーション形式で行い、グループワークにてケーススタディを通じ、アパレル生産管理業務を体得し MD としての実務を理解する。最終的にクライアントに向けたプレゼンテーションを行い、訴求力と論理的な思考を形成する。

授業概要

I. ガイダンス (1コマ)

- ① 授業概要 (提出物・試験・評価方法 等)
- ② キックオフ

II. クライアントのニーズを理解する (2コマ)

- ① 校外授業にてクライアントのニーズを調査する

III. クライアントに提案する商品のプレゼンテーション (1コマ)

- ① リサーチに基づいたプレゼンテーション

IV. 生産企画 (3コマ)

- ① グループワークにて生産企画を作る
- ② 役割分担
- ③ モックアップ作成
- ④ 資材調達
- ⑤ コスティング

V. インターナルサンプル発表会 (1コマ)

- ① 各グループにてサンプル発表プレゼンテーション

VI. VMD とプロモーション (1コマ)

- ① 店頭 VMD の作成
- ② プロモーションプラン作成

VII. プレゼンテーションスキル (3コマ)

- ① 効果的なプレゼンテーションの方法
- ② プレゼンテーション準備

VIII. 最終プレゼンテーション (1コマ)

- ① クライアントに向けて各グループで商品プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

S～C・F 評価 グループワークの貢献度 (40%) 出席率 (30%) + プレゼンテーション (30%)

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル生産実務を通して生産企画を行い、MD の役割と実務を理解する。担当教員は文化服装学院専任講師。

記載者書名欄 井戸川 倫也

科コード	科 名インダストリアル MD 3年	単 位	14
科目コード KG31101710	科目名 アパレル造形演習 (カット&ソー)	授業期間	2024. 4. 17~7. 10

担当教員(代表): マレイ(有)取締役 西川 真令

共同担当者: マレイ(有) 中川絵里奈

教育目標・レベル設定など

丸編みジャージーのデザイン知識 パターン作図、裁断、各種ミシン縫製仕様の実習取得。
Tシャツデザインの基礎知識と商品仕上げまでの指導。

授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

講義 T シャツ・カットソーの正しいパターン作図と各種デザインにおける各種ミシン使用の実習取得、丸編みニットジャージー素材の基礎知識と各種デザインと素材における特殊ミシン縫製技術の習得 プレス、袋詰め納品までの商品作り。

カットソー丸編み概論・丸編みを中心にしたニット素材のパターン製作と縫製の基本的知

美しいシルエットと衿回りとアムホールの考察 パリコレと東京コレクションでの比較からくる正しい知識の伝承。

T シャツ平面作図指導 各自実寸のパターン製作

T シャツまたはトップスの基礎デザイン裁断 縫製準備と縫製

各種2本針オーバーロック、2本針振りミシン、各バインダー、本縫い等 特殊ミシン縫製実習
カットソーにおける基礎的な2型、衿W付けまたはバインダー衿仕上げる理解をさせる

5/1、5/15、5/29 #3,4、#5,6、#7,8

コラボ企画デザインと作図 #9,10

提供素材のコラボ企画 本製品を作る、デザインと作図指導 裁断指導

初回のTシャツ・トップスはパターン修正、デザイン変更での作図 裁断

コラボ商品の縫製 6/26, 7/10 #11,12 #13,14

デザインに合わせた各種ミシンの縫製指導

裁断から縫製、プレス仕上げまでの検品チェック、検針チェック指導

常にハイレベルなパターンと縫製仕上げからクオリティーの良い製品作りを教える。

評価方法・対象・比重

実技評価 S A B C

参考図書 その他資料 パリコレや東京コレクションで製品縫製した素材 やサンプルを参考見本とする

授業の特徴と担当者 特徴:

縫製は現代縫製のマチ針を使わない高度な縫製を簡単に教えること、実践教育として Knowledge is Power の考えで教える、社会に出て即戦力 就職した企業で活用できるパターン・縫製・デザインの指導教育。

担当者員紹介:

大学卒業後 文化服装学院服飾産業科2年編入学、デザイン科在学中 山本寛斎のカンサイスポーツの仕事をする、(株)寛斎 入社後国内チーフデザイナーでパリコレを手伝う、帰国後は(株)アルファークユービック、(株)菊池武夫でデザイナー、1985年マレイ(有)設立 (株)イッセイミヤケ、(株)ヨウジヤマモト、ナカノヒロミツ等のサンプルと量産を手がける、現在もギャルソン、トーガ、アンダーカバー、ヨウヘイオウノ、ピアンカ、コズミックワンダー等デザイナーブランドを手がけ、幾多の特許取得とTVショッピング等に企業活動をしている。

記載者書名欄 マレイ(有)取締役西川真令 アシスト 中川絵里奈

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科3年	単 位	2 単位
科目コード	科目名 CAD パターンメイキング	授業期間	通年

担当教員(代表)：上野 和博	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ① 各自実物制作しているアイテムの実物パターンをスキャナで取り込み、整合性のとれた CAD パターンに仕上げる。
- ② 縫製仕様書作成の際に必要なデータ作成、修正が行えるレベル。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ①オリエンテーション 1 コマ
- ②基本操作の練習 1 コマ
- ③囲み作図 2 コマ ⇒文化式原型作図
- ④有型からの展開 2 コマ ⇒ ブルゾン (身頃・衿)
- ⑤スローパーからのパターン 5 コマ ⇒シャツパターンの作成
- ⑥パターン作成のプランニング 2 コマ ⇒縫い代付け、パーツ化、縫い代つけ、パーツ情報
- ⑦小テスト対策・解説 2 コマ
- ⑧2D データの活用 ⇒ 3DCAD 2 コマ
- ⑨2D データの活用 ⇒ 仕様書作成 2 コマ
- ⑩パターンのスキャン、トレース 2 コマ
- ⑫各自のパターンの修正方法 4 コマ
- ⑬各自のパターン、縫い代付け、パーツ化、縫い代つけ、情報つけ等の手順 2 コマ
- ⑭各自パターンのマーキング 1 コマ
- ⑮学年末試験対策 1 コマ

「使用ソフト」 東レ ACS 株式会社 クレアコンポⅡ使用

評価方法・対象・比重

実技試験 (80%) + 平常点 (出欠席 + ファイル) (20%)

主要教材図書

参考図書

その他資料：配布プリント (私製)

記載者氏名 上野 和博

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12423	科名 インダストリアルマーチャライジング科3年	単 位	13単位
科目コード 600920	科目名 ファッションマーケティングII	授業期間	前期

担当教員(代表): 岡部健史	共同担当者:
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

KAJIF 企画の商品企画と連動し、マーケティング・ブランディング・商品開発・販売戦略までを講義とグループワークで実践し、今後の商品開発に活かせるような人材を育てたい。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ

マーケティング・ブランディング・商品開発・販売戦略までのプロセスを一気通貫したマーケティングを実践する。

授業計画

マーケティング・ブランディング・商品開発・販売戦略を講義し、グループワークで調査・実践を行い、発表を行う。
所要コマ数: 26 コマ (講義: 30%・グループワーク: 50%・発表: 20%)

講義内容

- ・マーケティング
- ・マーケットリサーチ・競合分析
- ・ターゲット設定
- ・3C 分析
- ・SWOT 分析
- ・ブランディング
- ・トレンド分析
- ・4P 分析
- ・MD 商品構成
- ・販売戦略

マーケティングの方法を講義し、グループワークで調査・実践し、発表を行う。

KAJIF 企画の商品企画と連動し、マーケティング・ブランディング・商品開発・販売戦略までを講義とグループワークで実践し、今後の商品開発に活かせるような人材を育てたい。

【評価方法】

出席 70% 授業内課題 30%

主要教材図書

参考図書

その他資料 弊社作成マーケティング資料

授業の特徴と担当教員紹介

グループワークを多く取り入れ、学生自身で課題を解決出来るような授業にしていきます。

記載者氏名 グラファイト株式会社 岡部健史

2024年度 カリキュラム科目概要

科コード	KG3	科 名	インダストリアルマー チャンダイジング科	単 位	1 単位	
科目コード	SW	科目名	セールスワークⅡ	授業時間	15	
【授業概要、到達目標・レベル設定】 ブランドの戦略を、お客様の視点（データやカスタマージャーニーマップ）をもとに、計画し、顧客戦略を実行できるようになる						
【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先 テーマ 大) 自ブランドの顧客戦略が立てられるようにする 中) ペルソナの設定 カスタマージャーニーマップを用いて、顧客行動が洗い出せるようにする 顧客行動の洗い出しをもとに、ブランドの顧客戦略が組み立てられるようになる 小) ネットで答えを探すのではなく、顧客の立場にたって「考えを深められる」人材を育成する 制作物) ペルソナ・カスタマージャーニーマップ・顧客戦略についての発表 他科目との関連性) MDで立案した商品構成を、どのように売り場やECで効果的に売上に繋げていくか、など 使用パソコンソフト名) CANVA、パワーポイントなど、発表に使用するツール						
テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数	
顧客戦略とMDの関係性	講義	1				
顧客の分析	講義・発表	6				
顧客戦略の実行	講義・発表 発表	5				

【評価方法】 提出物に対する記述、発表、授業態度

--

主要教材図書	特になし（その都度、講師より資料を作成しスクリーンに投影）
参考図書	特になし
その他資料	『売れる販売員が絶対言わない接客の言葉』 日本実業出版社 平山枝美

<p>授業の特徴と担当教員紹介</p> <p>販売ルートが店舗だけでなく、ECなど多岐に渡る時代では、より「お客様がどのように考えて買い物をするか」を意識し戦略を立てる必要があります。徹底した顧客視点を学ぶことにより、リアルな戦略を立てられるようになります。</p>

記載者氏名：平山枝美

2024年度 カリキュラム科目概

文化服装学院教務部

学科コード	ファッションデザイン科 3年	単 位	2単位
科目コード	科目名 グラフィックワーク 2	授業期間	(通年)

担当教員(代表)：加藤 正人

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自の企画デザイン力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。ブランド企画に基づいた、ロゴ及びブランディングツール製作を通してグラフィックによるファッションブランディングの意識を養う。

【授業計画】

(1) ブランドロゴの製作(6 コマ)

- ・CI(コーポレートアイデンティティ)について
- ・ブランドロゴの機能と役割について
- ・シンボル、図形、マークのデザイン製作
- ・文字、タイプのデザイン製作

(2) ブランディングツールのデザイン(6 コマ)

- ・各ブランディングツールの機能と役割について
- ・商品下げ札(プロダクトカード)のデザイン
- ・織りネーム(ブランドタグ)のデザイン
- ・ショッパーのデザイン
- ・店舗、ショップデザインへの展開
- ・自由製作

(3) コンセプトビジュアルの製作(4 コマ)

- ・ブランドのコンセプトをビジュアルイメージで表現する。
- ・画像のコラージュ、加工、編集による表現。
- ・スタイリングマップの製作
- ・イラストレーターによる写真の構成、エディトリアル

(4) ブランド・シグネチャーパターンの製作(4 コマ)

- ・モノグラムデザイン
- ・ロゴデザインからの展開
- ・Illustrator によるオリジナルグラフィックパターン/柄の制作

(5) 衣服製品図の製作(5 コマ)

- ・Illustrator による衣服製品図の製作
- ・衣服製品図の描き方
- ・各アイテムごとの製品図の製作
- ・ディテール表現
- ・デザインの展開

(6) テキスタイルグラフィックの製作(5 コマ)

- ・オリジナルテキスタイル商品の企画デザイン
- ・Photoshop によるオリジナルグラフィックパターン/柄の制作
- ・柄の送り、四方連続リピート、ハーフステップリピート
- ・柄の配色バリエーションの製作
- ・柄のデザイン画、アイテムへの落とし込み
- ・モックアップイメージへの展開

使用ソフト

- ・Adobe Photoshop
- ・Adobe Illustrator

【評価方法】

- ・提出課題
- ・出席率、授業態度

主要教材図書・なし

参考図書・なし

その他資料・課題別各種プリント、作例

授業の特徴と担当教員紹介

アパレル会社にてグラフィックデザイナーとして勤務後、フリーランスとして活動。
ファッションブランド、ショップ等のグラフィック、イラスト製作を手がける。
デジタルデバイス、グラフィックソフトによるファッショングラフィックの実践授業を実施。

記載者氏名

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG	科 名 インダストリアルマーチャンダイジング科3年	単 位	2単位
科目コード 980031 980031	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：神藤 綾

共同担当者：

概要（教育目標・レベル設定など200字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
レギュラー授業には含まれない関連分野の専門知識を習得する。

- 1、テキスタイル企画 （3コマ）
- 2、デジタルプリントに関して（1コマ）
- 3、高機能素材のファッション企画について（1コマ）
- 4、副資材の知識 （2コマ）
- 5、インターネットビジネス（8コマ）
- 6、ビジュアルマーチャンダイジング表現 （5コマ）
- 7、2025AWトレンド情報関しての解説（2コマ）
- 8、品質表示の基礎知識（3コマ）
- 9、3DCADの基礎知識（3コマ）

評価方法・対象・比重
出席状況

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者氏名 神藤 綾

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12423	科 名	インダストリアルマーチャンダイジング科3年	単 位	2
科目コード		科目	インターネットビジネスⅡ	授業期間	後期

担当教員(代表): 城 陽太	共同担当者:
----------------	--------

教育目標・

WEB マーケティングとブランディングの構造を理解し、自身のブランドでアウトプットできるようになる。

【授業計画】

テーマ

既存のアパレルブランドのWEB サイト、Instagramについて分析し、購買につながる基礎知識をグループワークにて学ぶ

所要コマ数 14 コマ

(講義 50%、グループワーク 35%、発表 15%)

使用機材: PC

【講義内容】

- ・マーケティングとは+デジタルマーケティングの現状(10/18)
- ・Instagramの最新トレンド+活用方法の実例 / 見せるために必要なこととは(11/22)
- ・デジタルマーケティングの種類とその活用事例 / 売るために必要なこととは / WEB での顧客体験について(11/28)
- ・講義にて既存のブランドEC サイト、Instagram分析を行い、グループ単位で調査を行う(12/6)
- ・講義にて既存のブランドEC サイト、Instagram分析を行い、グループ単位で調査を行う(1/17)
- ・結果をプレゼンテーションし、フィードバック(1/24)
- ・テスト(1/31)

【ポイント】

- ・どこのブランドEC サイト、Instagramをテーマとするか
→なぜ、今このブランドの調査を行うのか(時事、コレクション、トレンド と 自分の好きなこととの関係性)
- ・EC サイト、Instagramのどこに焦点をあてるか
ペルソナ(デモグラ、サイコグラフィック)、顧客行動の仕組み化、ブランディングのアウトプット

評価方法・対象・比重

出席 70% 授業内課題 30%

主要教材図書

その他資料

記載者書名欄 城 陽太

2024年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード KG	科 名 インダストリアルマーチャダイジング科 3 年	単 位	4 単位
科目コード 970000	科目名 卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)：神藤 綾	共同担当者：
---------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

- ・マーチャダイジング計画（ブランド設定からプレゼンテーションまで）
- ・ブランド商品の開発（デザイン開発及び製品製作）

プライベートブランドⅡの企画とし、2024A/Wのマーチャダイジング計画に基づき商品開発を行う。（58コマ）

- 1、ブランド企画・商品構成
- 2、デザイン・パターン・1stサンプル制作
- 3、企画書制作
- 4、C201 で公開プレゼンを行う
- 5、卒業制作ショーでの発表

評価方法・

制作物・出席状況・コミュニケーション能力

主要教材図書

参考図書 各種コレクション情報

その他資料 トワル仮縫い及び実物参考作品

記載者氏名 神藤 綾